11月11日（水曜日）「イエスの受難週（1）」

【新改訳 2017】

ルカ　19•29-44

「……そして、そのろばの子の上に自分たちの上着を敷いて、イエスをお乗せした。……イエスが……近づかれたとき……みな……神を賛美し始め……言った。『祝福あれ。主の御名によって来られる王に。……』」（35-38 節）

これは、主イエスがエルサレムに入城された時の有名な話の一部です。

きょうから「イエスの受難週」として知られている一週間の記事を少し詳しく学びます。それは、キリストを信じる信仰の祝福を本当に知るためには、その祝福の内容や根拠をよく知ることが必要だからです。

私たちは、祝福を安易に考えて求めやすいので、祝福も表面的に、ご利益的にしか考えてないのではないかと心配です。

主イエスが子ろばに乗って入城することは、ゼカリヤ書の預言（9•9）の成就でした。そして、群衆は大歓呼で迎えましたが、イエスは都の人々が気づいていない彼らの罪とその結果を思

い、涙を流しつつ入城されたのです。私たちは、主の涙に気づいているでしょうか。

～祈り～

主よ。自分の思いであなたを歓迎したり、無視したりしてしまうことをおゆるしください。あなたの涙に気づく者であらせてください。

【学びのために】

「まえがき」にも記しましたように、日課の聖句には一部、重複があります。特に、きょうから 20 日までは、4 月 1-7 日の受難週の記事と重複していますが、別の面からの聖句も加え、異なる内容を加えています。より全体を学ぶために生かしてください。